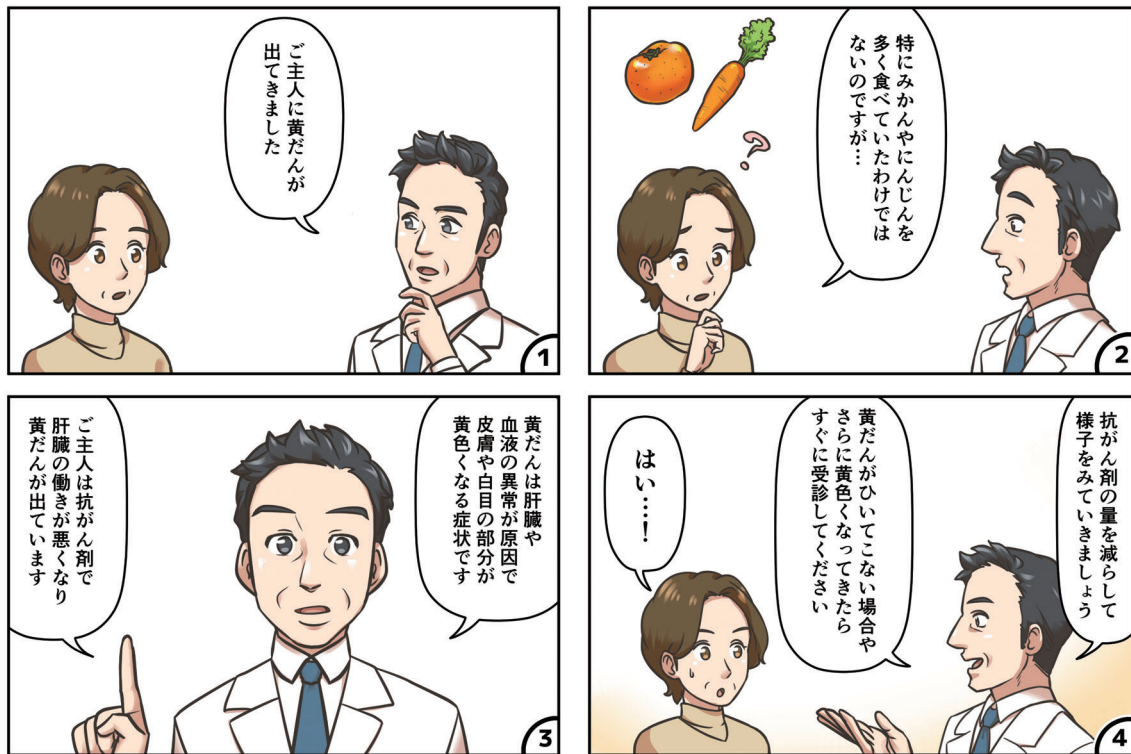




黄だん (おうだん)



肝臓や血液の異常のために、皮膚や白目の部分が黄色くなることです。肝臓の病気の場合と、血液の病気の場合があります。

肝臓の場合、肝炎や肝硬変などの病気や、肝臓につながる管の異常で、通常は血管に入らない胆汁(たんじゅう)が、血液中に流れ込むことによって起こります。血液の場合、赤血球が一度にたくさん破壊されることによって起こります。どちらの場合も、血液の中のビリルビンという物質が増加して、これが皮膚や粘膜にたまることで、黄色くなるのです。

連絡先(医療機関名)